

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	学校屋外運動場整備事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	02	01	05	54
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	学校施設課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	大塚 昌浩				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	小学校の児童、教職員及び学校施設利用者	意図	グラウンドは学校運営上必要な機能であり、避難場所としての機能も有することから適正に管理する必要がある
事業内容	・グラウンド全体に傾斜がついており、降雨後に土砂が削り取られ、表面に段差が複数できている。児童がグラウンドで運動する際に転倒、けがの原因となるため、早急に改修工事が必要。			
事業開始から現在までの状況変化	降雨による水みちによって出来る凹凸や舗装部との段差など、利便性が低下しているだけでなく安全面でも課題があるため、早急に改修が必要。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	工事対象校	1	1	1	校	↓↓↓
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
・南流山小学校の校庭拡張を行った。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,118,500	67,515,760	86,001,600
事業費(b)(円)	432,000	65,435,040	84,024,000
うち一般財源	432,000	11,966,040	21,024,000
職員給与費(c)(円)	686,500	2,080,720	1,977,600
人役・職員(人)	0.10	0.31	0.30
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	国庫補助の採択の有無により、事業の実施を判断する	③取組における課題(Check)	材質や工法の十分な検討が必要
②H30に実施した取組(Do)	翌年度工事に向けた設計業務	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	学校運営に配慮した工期設定とする